

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】



1 実践テーマ	【 II・V 】
2 実施対象者	桜川市立桜川中学校全学年 150名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間 ) ② 行事名 ( 教育講演会 ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 1 イベント名 ( ) 2 その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○ おもてなしの心を育み、相手の気持ちを考えながら、地域の行事や茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックに進んで関わることのできる人材を育成する。 ○ 元オリンピックメダリストの講話を聞くことを通して、自己の生き方を考えたり、諦めずにやり抜く気持ちの大切さに気付いたりすることができる。
5 取組内容	○ 「人をもてなす心」についての調べ学習 ・様々なジャンルの職業に就く人が、人と接するときどのようなことに気を付けているか。 ・外国人が、日本の「おもてなし」をどのように感じているか。  ○ おもてなし講座Ⅰ 【講師】 筑波大学客員教授 江上いずみ 氏 【演題】 「おもてなしの心と上手な話の聴き方」 ・キャビンアテンダント時代の経験をもとに、お客様に対するおもてなしの仕方など、実演を交えて分かりやすく教えていただいた。 ・相手にとって印象のよいあいさつの仕方（分離礼）や正しい日本語の使い方を一緒に練習し、全校生徒が身に付けることができた。



<おもてなし講座の様子>



<分離礼の練習>

	<p>○ 教育講演会  【講師】平岡 拓晃 氏 筑波大学院 ロンドンオリンピック柔道銀メダリスト</p> <p>【演題】「失敗＝ダメではない！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 期待を受けて出場した北京オリンピックで結果を残せず、帰国後バッシングを受けながらも、気持ちを立て直し、ロンドンオリンピックで銀メダルに輝いた経験をもとに講話をいただいた。</li> <li>• 生徒は、映像を見たり実物のメダルに触れたりしながら興味をもって聞き、諦めないことの大切さを学んだ。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 100px;">＜生徒の中に入りながら＞</span> <span>＜希望者が銀メダルに触れて＞</span> </p> <p>○ おもてなし講座Ⅱ  【講師】江上いずみ 氏 筑波大学客員教授  【演題】「グローバルな日本人に」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2回目は、「グローバルな日本人に」というタイトルで、国際的なマナー（グローバルなあいさつ、握手のマナー、ノックのマナー等）を学んだ。</li> <li>• 前回同様、引き込まれる話で、生徒はたくさんの事を学ぶことができた。</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「おもてなし講座」では、これまでの自分の話し方や人との接し方を見直すことができた。また、学校生活の中で、あいさつの仕方や会話において、マナーを意識できるようになった。</li> <li>• 教育講演会では、挫折から立ち直り、オリンピックという舞台で結果を残した講演を聞き、目標に向かって諦めずに続けていくことの大切さを学んだ。</li> </ul>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合的な学習の時間で調べ学習を行った後に講演会を開催することで、生徒の興味・関心が高まり、「おもてなし」に対する理解が深まった。</li> <li>• 調べたことを発表することにより、自己の意識が高まるとともに、友達の意見を参考にしながら改善し、実践へとつなげていこうとする意欲が高まった。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講演会を開催するにあたり、学校が様々な選択肢をもてるように講師一覧等があると、連絡・調整がしやすい。</li> <li>• 予算を執行するとき、教育委員会を通さなければならないため、事務的な手続きが増えてしまう。</li> <li>• 事業を推進していくための、時間の確保が難しい。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の行事に、中学生ボランティアとして参加し、地域外からのお客様をおもてなししていく。</li> <li>• 茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、自分たちがどのように関わっていけるか、さらに追究する。</li> </ul>